

ノンバイナリー差別と 抵抗の歴史をたどる

2025

関西学院大学人権教育研究室

指定研究「SOGIEと人権」第1回公開研究会

会場：関西学院大学

西宮上ヶ原キャンパス中央講堂

6.19 Thu.
15:10-16:50

講演内容：「わからない」「ただの流行りでしょ」
「勘違いでは？」——Xジェンダーやノンバイナリーといった「女」「男」に当てはまらない性を生きる人びとの経験は、つねに抹消されがちです。しかし、彼人たちはトランスジェンダーの自助グループや、ホームページ・SNSなどのオンラインの居場所を通じてたしかに語りを紡ぎ、排除的なまなざしを向けられつつも生き抜いてきました。この講演では、ノンバイナリー／トランスジェンダー排除の言説がどのような特徴を持つのかを批判的に検討しながら、非二元的な性を生きる人びとの実践の積み重ねを抵抗の歴史として示していきたいと思います。

対象：一般、大学生・院生、専門家、教職員など

連絡先：人権教育研究室

Tel.0798-54-6720

Mail:human-rights@kwansei.ac.jp



講師：武内今日子氏

関西学院大学 社会学部 助教

プロフィール：1993年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科修了。博士（社会学）。東京大学情報学環特任助教を経て、2024年4月より現職。専門は社会学、ジェンダー・セクシュアリティ研究。主著に『非二元的な性を生きる：性的マイノリティのカテゴリー運用史』（明石書店、2025年）。